第３学年○組　　社会科学習指導と評価の案

日　時：平成１６年１０月８日（金）
第３校時
場　所：北舎３階　３年○組教室
授業者：長谷川　順子

１、 単元名　３年社会科　「　農家の仕事　～ほうれん草農家をたずねて～　」

２、 本時の目標

・　中島さんが、お金や手間がかかるのにほうれん草を作っているのは、夏作るともうかるから、寒暖の差が激しいという気候を生かしているから、「飛騨ほうれん草」は消費者においしいと評判だからということに気づく。

３、 本時の評価規準

思考・判断

・農家の中島さんが、お金や手間がかかるのにほうれん草を作っている理由を、夏作ると高く売れるというもうかるという視点と寒暖の差が激しい高山の気候を生かして作ったほうれん草はおいしいと評判であるという消費者側に喜んでもらいたいという視点の両面から考えている。

４、本時の展開

過程	主な学習活動	学習集団	個のつまずきに対する指導・援助
つかむ	◎　前時の感想（「ほうれん草がビニールハウスで作られているのは雨と暑さを防ぐためだと分かったよ。」という内容）と中島さんの話（実はビニールハウスにはお金がかかるし手間がかかるので毎年悩むという内容）から意識のずれを起こす。 S、この前の授業で、ビニールハウスは大事な役目があるって分かったよな。 S、えっ？そんなにお金がかかるの？ ◎　本時の課題を設定する。 お金も手間もかかるのに、どうして中島さんはほうれん草を作っているのだろう。	全体 全体	つまずきの様相：感想と中島さんの話にズレを感じないでいる。（発言で評価） 指導援助：「そんな悩みがある中島さんだけど、ほうれん草づくりをしてる？してない？」と問い返し、ズレに気づかせる。
追究する	◎　課題に対しての理由を予想する。 S、買う人に「おいしい」って言われるからじゃないかな。 S、それよりもたくさんお金がもうかるからかな。 ◎　本時の資料を中心に、課題追究する。 S、本時の資料や前時までの資料から個人追究・ペア交流（交流タイム）する。 資料１ 消費者の声（大阪市民） 資料２ 売れる値段（夏と冬の比較とそのわけ） 資料３ 中島さんの話（寒暖の差が激しいのでおいしいこと、トマトは他でも作っていること）	全体 個人（ペア）	つまずきの様相：資料から追究できない。（ノートで評価） 指導援助：分かりやすい資料１に着目させ、「お客さんは何と言っているの？」「そう言われたら中島さんはどんな気持ち？」と尋ね、消費者に応えようとする中島さんの気持ちに気づかせる。
深める	◎　調べたことをもとに全体交流する。 S、資料１から、買って食べた人が「おいしい。」と言っていますよね。だから中島さんは、お金や手間がかかっても作ろうと思うのだと思います。 S、資料２から、冬より夏の方が高く売れることが分かりますよね。冬は高山では作れないけど、夏は作れます。夏はもうかるので、ビニールハウスにお金がかかっても作るのだと思います。 S、資料３から、「高山の夏は昼間は暑いけど夜涼しいのでおいしいほうれん草ができる。」と書いてありますよね。ほかの地域で獲れるほうれん草よりおいしくできるので自信をもって作っているのだと思います。	全体	つまずきの様相：消費者に喜ばれているからだということに気づいているが「夏もうかる」という事実に気づいていない（ノートで評価） 指導援助：「でもお金や手間がかかるんだよ。」と尋ね、他にも理由がないか考えさせる。資料２をいっしょに読み取り、わけに気づけるようにする。
まとめる	◎　資料（ビデオ）を見て、考えを確かなものにする。 **中島さんの話** お金も手間もかかるけどがんばって作っているわけは、２つあります。１つ目は、夏作るともうかるということです。確かにビニールハウスにはお金がかかり、その値段も馬鹿になりません。だけどそれ以上に夏は高山で作られるほうれん草が高く売れ、もうかるのです。 ２つ目は、高山で作られるほうれん草がおいしくて評判だということです。家で作っているほうれん草は大阪に出荷されることを知っていますか？高山で作られるほうれん草は「飛騨ほうれん草」というブランド品で、大阪では、これが特に「おいしい」と評判なんですよ。高山の夏は昼間暑くても夜は涼しいですよね。この気候がほうれん草をおいしくしているんです。せっかく「おいしい」といわれているのだから、これ以上味はおとせないなという気持ちでがんばっています。 こんなわけがあって、おじさんたちは毎日ほうれん草作りをがんばっています。ビニールハウスでお金がかかる分、広い土地でたくさんほうれん草を作りいっぱい売れるようにしたり、手間がかかる分、収穫は今まで手で行っていたことを機械にして楽にしたり、いろいろ工夫しておじさんたちはがんばっているのです。	全体	つまずきの様相：「高山のほうれん草がおいしい」という気づきに止まり、高山の気候を生かしていることに気づいていない。（発言で評価） 指導援助：「どうして高山のほうれん草はおいしいって言われるのかな？」と問い返し、資料１を資料３と結びつけて考えられるようにする。寒暖の差に気づかせる。（前学習した資料にも触れて）
	◎　本時のまとめと自己評価をする 中島さんが、お金も手間もかかるけどお客さんに喜んでもらえるから作っているんだ。中島さんにずっとがんばって「飛騨ほうれん草」を作ってほしいな。	個人	つまずきの様相：本時のまとめができないでいる。（ノートで評価） 指導援助：板書を確認して本時のとらえさせたい内容を理解させる。